



令和6年6月

座談会御書

曾谷殿御返事

\* \* 地区



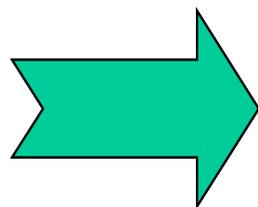
# 背景と大意

- 建治2年7月 55歳御作
- 対告衆：曾谷殿（在千葉）
- 別名：**成仏用心抄**
- **成仏**の原理は「**境智の二法**」
- 「境智の二法」とは南無妙法蓮華經
- **民衆救済**の御決意を示す



# 忠言耳に逆う

此法門を  
**日蓮**申す



根源の法  
根本の師匠

**正法**ゆえに、偏見・憎しみを受ける

- 根本の法・**師匠**を誤るな
- 迫害を恐れず**成仏の道**を進め



# いまだこりず候

広宣流布への強いお心

- 迫害にも難にも負けない**決意**
- **大難**を越えて**法華経**を弘める
- 末法の衆生を救うとの**決意**
- 弟子として**創価の道**を進め

強き心で**弘教**の道を進め



# 仏種と心田

- 南無妙法蓮華経は**根源の仏種**
- **仏**は衆生の心田に**仏種**を植える
- 折伏弘教は**友の心**に**仏種**を植える
- 弘教活動は**仏の行動**と同じである

友の幸福を祈り、真心の対話を



# 指導から

- どんな**苦難**に突き当たっても、「**負けじ魂**」で立ち上がるのが**創価の勇者**
- 「**いまだこりず候**」ここに、日蓮仏法の真髓の**負けじ魂**がある。**正義の魂**は絶対にこりない。

**師と共に「いまだこりず候」**  
**の精神で下種の対話を**